【借入と信用】

▶いろいろな決済方法について学んでいきます。

世の中には様々な決済手段があります。

例えば..

現金払い
銀行振込
クレジットカード
コンビニ払い
代引き

など様々な支払い手段があります。

▶支払い方法の分類

支払いのタイミングによっても分類することができます。

前払い→コンビニ払いや銀行振り込み
同時払い→現金払いや代引き、デビットカードなど
後払い→クレジットカード払い

▶日本のキャッシュレス比率

日本はキャッシュレス後進国と言われています。

世界と比較してキャッシュレス比率が低い国です。キャッシュレス比率とは支払った金額のうち何%をキャッシュレスで支払っているかのレートを表します。

つまり現金比率が非常に高いと言うことになります。

原因は色々と考えられますが、例えば治安が良く大金を持ち歩いていても強盗に合うリスクが少ない、カード破産などネガティブなイメージがあるなどが挙げられます。

しかし**海外ではキャッシュレス化が進んでいます**。

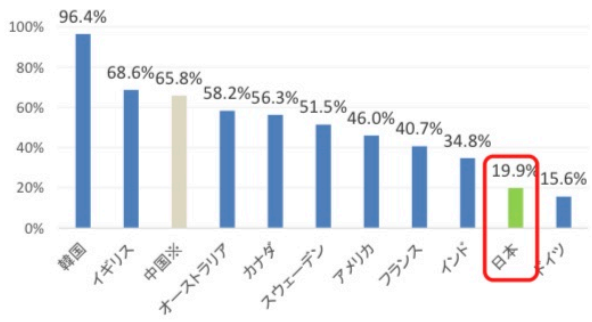
治安の問題や、偽造紙幣の問題などがよく挙げられます。また脱税防止にもキャッシュレスが有効です。韓国のキャッシュレス比率は非常に高いですが、それにより脱税がかなり減ったと言う報告があります。

日本は現在約20%であるキャッシュレス比率を、40%にしようとしています。

日本のキャッシュレスの現状と目標

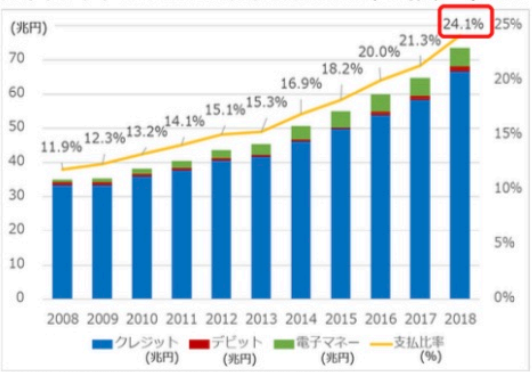
- 日本のキャッシュレス決済比率は**約20%**にとどまっているが、主要各国では**40%～60%台**。
- キャッシュレス決済比率を**2025年までに4割程度、将来的には**世界最高水準の**80%**を目指す。

世界各国のキャッシュレス比率比較（2016年）



（出典）キャッシュレス・ロードマップ2019

我が国のキャッシュレス支払額及び比率の推移（2018年）



（出典）内閣府「2015年度国民経済計算年報」 民間最終消費支出：名目
（一社）日本クレジット協会調査（注）2012年までは加盟クレジット会社へのアンケート調査結果を基にした推計値、平成25年以降は指定信用情報機関に登録されている実数値を使用。
デビット：日本デビットカード推進協議会（J-debit）2016以降は日本銀行レポート。
電子マネー：日本銀行「電子マネー計数」

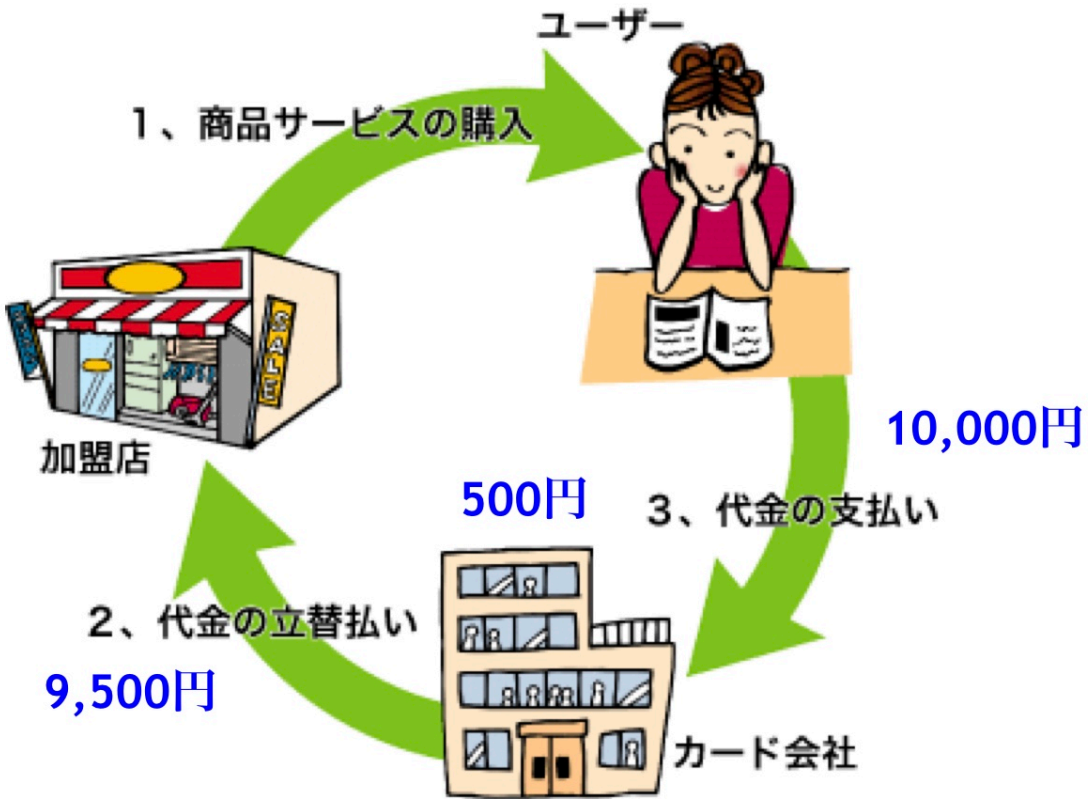
「成長戦略フォローアップ」(令和元年6月21日閣議決定)

【抜粋】2025年６月までに、キャッシュレス決済比率を倍増し、**４割程度**とすることを目指す。

「キャッシュレス・ビジョン」（平成30年4月11日　キャッシュレス検討会策定）

【抜粋】大阪・関西万博（2025年）に向けて、「支払い方改革宣言」として「未来投資戦略2017」で設定したキャッシュレス決済比率**40 %**の目標を前倒し、高いキャッシュレス決済比率の実現を本検討会として宣言する。さらに将来的には、世界最高水準の**80%**を目指していく。

▶クレジットカードによる決済を知る



クレジットカードはいわゆるツケ払いをシステム化したものです。

その場で現金を支払う必要がなく、翌々月にカード会社から引き落とされる仕組みです。

後払いにもかかわらず、利息がかからないので非常に便利な支払い手段となります。

【図の説明】
①ユーザは商品を購入する際その場で現金を支払わず、代金の支払い1万円はカード会社に支払います。

②カード会社はクレジットカードで買い物された分の売り上げから3～7%ほどの手数料（カード決済システム使用料）を徴収して残りをお店に振り込みます。

【ポイント】

・カード会社の収益の一部をポイントとしてユーザに還元しています。

・クレジットカード会社に支払う手数料は加盟店側が支払うルールになっていますので、クレジットカード払いで手数料をユーザに上乗せされないようになっています。

▶クレジットカードを構成する3つの要素

①カード発行会社
→クレジットカードの発行元です

②国際ブランド
→ビザ、マスター、JCB、ダイナース、アメックスを5大国際ブランドといいます。どこで使えるかが決まります。

③提携会社
カード会社と提携して独自の特典やポイントサービスを提供する会社です。
カード発行会社は、ブランド力のある企業と提携することでカードの館員を増やすことにつながります。

クレジットカード3種類あります

個人カード→一般的に個人が持つ場合はこのカードになります。

ビジネスカード→会社経費などを落とす専用のカード。個人事業主や企業経営者が持つカードで

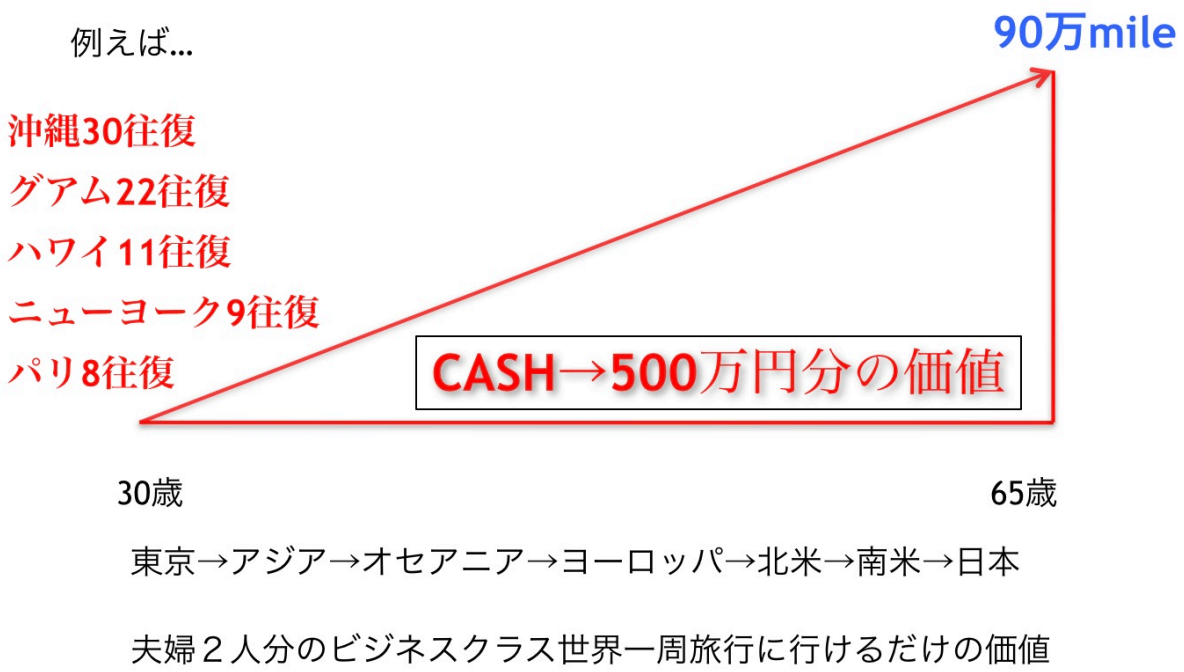
コーポレートカード→大企業が社員に大量に発行する場合はコーポレートカードになります。

▶クレジットカードで貯まるマイルについて

クレジットカードではマイルを貯めることができます。

マイルは、航空券専用のポイントです。

マイルを貯めればただで航空券を入手することができるようになります。



例えば上の例では、現役中にマイルを貯め続けリタイヤ後90万マイルが蓄積していたケースです。

沖縄なら30往復、ハワイなら11往復分の航空券に変えることができます。

クレジットカードのポイントは、ポイントとして使えば最大で1ポイント1円にしかなりませんが、マイルに帰ると1ポイントが5円や10円にも変えることができるようになります。

15000ポイント→14500円の商品券

1ポイント＝1円

15000ポイント→15000マイル（沖縄往復航空券）

３万円～７万円

1ポイント＝2円～4.6円

マイルに移行する事で資産価値が高まる

▶ポイント還元率だけではなくマイル移効率もチェックしてみよう

15000ポイント→15000マイル（沖縄往復航空券）

マイル移行率

還元率だけではなく、マイル移行率もチェック

▶マイル還元率が高いカードの例

ダイナースプレミアム

マイレージプラスセゾン 7000

SPGカード（アメックス）　30000

アメックカード（グリーン、ゴールド、プラチナ、センチュリオン）

JALカード（ショッピングマイルプレミアム付加）7000

ANAカード（１０マイルコース）7000

・ダイナースプレミアムやアメックスは年会費が高いため、一般的にはJALカードやANAカードなどを選択する人が多いです。

▶支払い方

①一括払い

- 利用代金を、翌月あるいは翌々月に一括で支払う。手数料はかからない。
- また、ボーナス月に利用代金を一括で支払う「ボーナス一括払い」という方法もあり、この方法でも手数料はかからない。

②分割払い

- 利用代金を3回、5回、10回など指定する回数に分けて支払う方法で、手数料がかかる。
- 分割回数が多いほど、一度に支払う金額は減らせるが、手数料が高くなる（ただし、2回払いまでは手数料がかからないのが一般的）

③リボルビング払い

- リボルビングとは、
  「回転」という意味。
- リボルビング払いは毎月の支払い額を決めて、利用代金の残高がなくなるまで支払う方法。

※分割払いもリボ払いも、**返済が長期化すれば手数料は高くなる**。

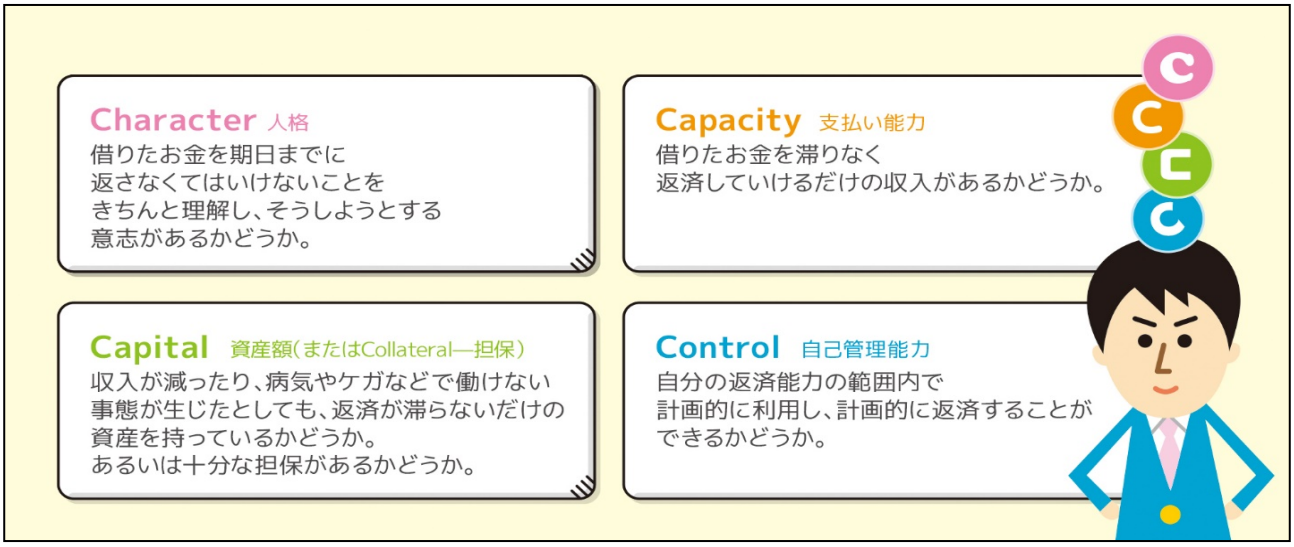
リボ払いは繰上げ返済の自由度が高く、分割払いは繰り上げ返済ができない会社が多い。利用時には注意が必要。

分割払いも手数料は高いため、繰上げ返済できるならリボ払いを選んだ方が手数料は安くなる可能性が高い。

▶「信用」とは

金融機関がお金を貸すとき、貸す相手（消費者）を「信用」できるか判断します。

お金を貸す基準は大きく4つです。



特に重要なのは**返済能力があるかどうかです**。

▶個人信用情報とは

信用情報（しんようじょうほう）とは、個人の年収や住宅情報、勤務先等の属性情報及び、ローンや公共料金等の支払い情報のこと。

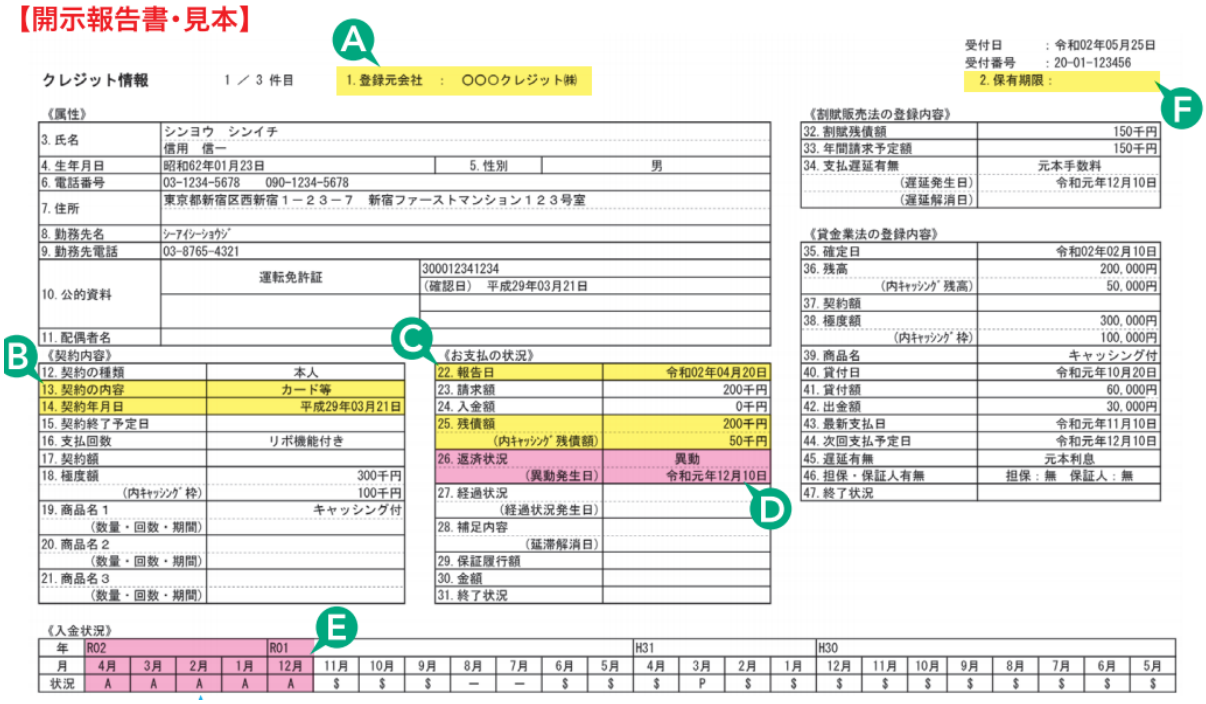
信用情報機関が信用情報の収集と提供を行なっています。
金融機関やクレジットカード会社は、信用情報機関から有料で情報を取り寄せ審査に活用しています。

代表的な信用情報機関

株式会社シー・アイ・シー（CIC）
全国銀行個人信用情報センター
日本信用情報機構（JICC）

などがあります。

▶CICの見方



【開示報告書・見本】

クレジット情報　1 ／ 3 件目

A 1. 登録元会社 ： ○○○クレジット㈱

受付日 ：令和02年05月25日
受付番号 ：20-01-123456
2. 保有期限 ：

F

《属性》

3. 氏名	シンヨウ　シンイチ 信用　信一		
4. 生年月日	昭和62年01月23日	5. 性別	男
6. 電話番号	03-1234-5678　090-1234-5678		
7. 住所	東京都新宿区西新宿１－２３－７　新宿ファーストマンション１２３号室		
8. 勤務先名	ｼｰｱｲｼｰｼｮｳｼﾞ		
9. 勤務先電話	03-8765-4321		
10. 公的資料	運転免許証	300012341234 （確認日）　平成29年03月21日	
11. 配偶者名			

《割賦販売法の登録内容》

32. 割賦残債額	150千円
33. 年間請求予定額	150千円
34. 支払遅延有無	元本手数料
（遅延発生日）	令和元年12月10日
（遅延解消日）	

《貸金業法の登録内容》

35. 確定日	令和02年02月10日
36. 残高	200, 000円
（内ｷｬｯｼﾝｸﾞ残高）	50, 000円
37. 契約額	
38. 極度額	300, 000円
（内ｷｬｯｼﾝｸﾞ枠）	100, 000円
39. 商品名	キャッシング付
40. 貸付日	令和元年10月20日
41. 貸付額	60, 000円
42. 出金額	30, 000円
43. 最新支払日	令和元年11月10日
44. 次回支払予定日	令和元年12月10日
45. 遅延有無	元本利息
46. 担保・保証人有無	担保：無　保証人：無
47. 終了状況	

B 《契約内容》

12. 契約の種類	本人
13. 契約の内容	カード等
14. 契約年月日	平成29年03月21日
15. 契約終了予定日	
16. 支払回数	リボ機能付き
17. 契約額	
18. 極度額	300千円
（内ｷｬｯｼﾝｸﾞ枠）	100千円
19. 商品名１	キャッシング付
（数量・回数・期間）	
20. 商品名２	
（数量・回数・期間）	
21. 商品名３	
（数量・回数・期間）	

C 《お支払の状況》

22. 報告日	令和02年04月20日
23. 請求額	200千円
24. 入金額	0千円
25. 残債額	200千円
（内ｷｬｯｼﾝｸﾞ残債額）	50千円
26. 返済状況	異動
（異動発生日）	令和元年12月10日
27. 経過状況	
（経過状況発生日）	
28. 補足内容	
（延滞解消日）	
29. 保証履行額	
30. 金額	
31. 終了状況	

D

《入金状況》

E

年	R02				R01								H31				H30							
月	4月	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
状況	A	A	A	A	A	$	$	$	—	—	$	$	$	P	$	$	$	$	$	$	$	$	$	$

CICの毎月の記号の見方

表示	内　　容
$	請求どおり（もしくは請求額以上）の入金があった
P	請求額の一部が入金された
R	お客さま以外から入金があった
A	お客さまの事情で、お約束の日に入金がなかった（未入金）
B	お客さまの事情とは無関係の理由で入金がなかった
C	入金されていないが、その原因がわからない
—	請求もなく入金もなかった※
空欄	クレジット会社等から情報の更新がなかった※

▶連帯保証人とは

お金を借りる本人の信用だけでは十分ではないとき、貸主（債権者）から「連帯保証人」をつけるよう求められることがある。

保証人と連帯保証人の違い（債権者から返済を迫られたとき）

保証人	連帯保証人
「まずは借りた本人に請求して」と言える（催告の抗弁権）	左記の抗弁はできず、本人に代わって全額返済する義務がある
「借りた本人の財産から返済してもらい、足りない分だけ払う」と言える（検索の抗弁権）	左記の抗弁はできず、本人に代わって全額返済する義務がある

▶ローンの基礎

住宅や自動車などの高額なものを購入するときに、ローン（借入れ） を利用して購入することで、全額貯めてから買うよりも早く手に入れることができる。しかし、借りたお金は、利息を付けて返済しなければならなりません。

▶ローンの種類

①住宅ローン
マイホームを購入するときのローンです。
一般的に35年ローンが多いです。
フラット35が有名です。

②教育ローン

子供の教育費を借りるローンです。

③自動車ローン

自動車購入のための資金を借りるローンです。

④カードローン

使い道が自由なローンです。

▶ローンの利息シミュレーション

ケース1

借り入れ金額：4000万円

金利：1.5%

返済期間：35年

	当初金利	第二金利	第三金利
毎月返済分	122,473円	--------円	--------円
ボーナス分	--------円	--------円	--------円

総返済額	51,438,816円
融資手数料	0円
保証料	0円
総支払額	51,438,816円

ケース2

借り入れ金額：4000万円

金利：2.5%

返済期間：35年

	当初金利	第二金利	第三金利
毎月返済分	142,998円	--------円	--------円
ボーナス分	--------円	--------円	--------円

総返済額	60,058,888円
融資手数料	0円
保証料	0円
総支払額	60,058,888円

借り入れ金利が1%上がると、返済額が1000万増える。

▶銀行の仕組み

我々が使ってるお金は大きく2種類ありますが1つが銀行預金です。
もう一つは現金紙幣です。

現金紙幣と銀行預金は性質が違うお金です。
→お金の機能
①価値の尺度
②価値の保存
③決済手段
上記3つの機能を持っています。